

2012-B					
拠出金・基金の名称:		国際エネルギー機関拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際エネルギー機関(IEA)					
【所管官庁担当局課・室名】: 資源エネルギー庁国際課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 第一次石油危機を契機に設立されたIEAは、エネルギー自給率の低い我が国にとって、エネルギー安全保障上重要な組織であり、このIEAを通じて、日本を含めた世界のエネルギー安全保障向上への貢献を目的とする。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	295,792	-	2,641	1ユーロ = 112円	0
平成23年度	208,320	-	1,736	1ユーロ = 120円	0
平成22年度	357,237	-	2,666	1ユーロ = 134円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 <エネルギー市場分析> WEOをはじめとするIEAの石油・ガス・再エネ等のエネルギー需給分析は、各国の政策立案や投資判断の重要な材料となっており、引き続きその取組を支援し、市場の透明性を向上させることが必要。 <エネルギー安全保障> IEAが知見を有する石油の緊急時対応について、緊急時対応に関連する分析等を支援。緊急時対応能力の向上は、我が国のエネルギー安全保障強化にとって極めて重要。 <エネルギー技術> エネルギー技術ロードマップ等の策定を通じ、世界全体で技術開発の方向性を共有し、我が国戦略も的確に盛り込みながら、国際協力を進めることが不可欠。 <国際パートナーシップ> アソシエーション・イニシアティブや技術普及のための国際協力、G8、G20、クリーンエネルギー大臣会合(CEM)といった国際フォーラムやASEANのような地域機関との戦略的な協力を進めていくことは、IEA及び我が国を含む加盟国にとって有用。					